

校長室から

ひがしなら通心

(H30年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 58

平成31年3月1日(金)発行

「ことばの力」

～学校だより3月号に続いて～

人間が話す言葉は、使い方によって聴く人を幸せな気持ちにしたり、悲しませたりします。ほめられる言葉をかけられると嬉しい気持ちになるし、悪口を言われると悲しい気持ちになります。ことばは人間の心を動かす力を持っているのです。また、人間の言葉は草花にも分かるのです。

今から20年以上前、大阪のある小学校の1年生が、教室で2つの鉢を使ってアサガオを育てることにしました。そして、毎日一つの鉢のアサガオにはほめ言葉や励ましの言葉をかけ、もう一つの鉢のアサガオにはかわいそうですが悪口や傷つける言葉をかけたのです。1ヶ月後、ほめられ続けた鉢のアサガオはすくすくと伸び、葉も青々としてきました。一方悪口を言われ続けた鉢のアサガオは元気がなく、双葉からなかなか本葉が出てきません。そして、2ヶ月後二つのアサガオはどうなったでしょう。ほめられ続けたアサガオは毎日たくさんの花を咲かせ続けました。そして、悪口を言われ続けたアサガオは何と枯れてしまいました。つまり、言葉の力によってアサガオの命が奪われてしまったのです。この話から、言葉がどれだけすごい力を持っているかが分かります。

そこで、みなさんが、毎日学校で友達と仲良く楽しく過ごすためにぜひ実行してほしいことがあります。それは、呼び捨てをしないことです。〇〇さん、〇〇くん、〇〇ちゃん、どれでもいいですから、学校にいる間は、授業中でも休み時間でも友達を決して呼び捨てにしないでください。呼び捨てがなくなり、悪口も言わなければ学校では毎日楽しく過ごせるはずです。

ここで一つ詩を紹介します。北原白秋の「ひとつのことば」という詩です。

ひとつのことばで けんかして	ひとつのことばは それぞれに
ひとつのことばで なかなかおり	ひとつの心をもっている
ひとつのことばで 頭が下がり	きれいなことばは きれいな心
ひとつのことばで 心が痛む	やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばで 楽しく笑い	ひとつのことばを大切に
ひとつのことばで 泣かされる	ひとつのことばを美しく

この詩は、谷川俊太郎さんの詩集にもあります。

子育てカルタ

～ある本より見つけました～

<な行>

な：何が大切か見極めて行動を
に：にっこり笑って応えてあげて
ぬ：ぬくもり感覚は一生忘れない
ね：根っこを育てるのがポイント
焦らない
の：のんびり親におっとり子ども

<は行>

は：早くしなさい、いけませんは
失格言葉
ひ：百点育児は目指さない
ふ：不平は害あって利益なし
へ：平和の大事さ家庭から
ほ：本物、ウソ物見分ける力

<ま行>

ま：待つことの必要さも教えよう
み：みんな仲良しうれしいな
む：昔の良いことを伝えよう
め：目を見て話そう親子の対話
も：もう一度はない。

<や行>

や：やっとできたとき味わう達成感
ゆ：ゆっくり後ろから見守って
よ：よちよちあんよ、かわいい頃を
忘れない



<ら行>

ら：楽々育児は安物育児
り：リンゴのほっぺかわいいね
る：ルンルン気分でお散歩に
れ：礼儀正しさ気持ちいい
ろ：論より証拠、わが子の姿

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール9 もらったプレゼントに文句を言わない

だれかに何かをプレゼントされたときは、よくない感想や不満を口にしてはいけない。プレゼントをくれた人にたいして失礼だからだ。

●プレゼントをくれた人がだれであっても、その人の気持ちを考えて、喜んでいられる態度を見せよう。ほんとうはあまり気に入らなかったとしても、それを態度にあらわすのは失礼というものだ。